



海洋エネルギーは無量大

6月23日・24日の両日、ハワイ郡コナにて第8回沖縄ハワイ海洋エネルギー&経

ハワイと久米島を結ぶ 海洋深層水

済開発シンポジウム・ワークショップが開催され、久米島町長はじめ、町海洋深層水協議会メンバーや関連企業など約30名が参加しました。

このシンポジウムは、平成22年6月、経済産業省・米国内エネルギー省・沖縄県・ハワイ州の4者で結んだ「沖縄ハワイクリーンエネルギー協定」をもとに、久米島町およびハワイ州ハワイ郡コナにて毎年交互に開催しています。

23日午前中のハワイ州立自然エネルギー研究所見学に続き、同研究所内にて経済開発シンポジウム・ワークショップが行われ基調講演から両地域におけるエネルギー戦略や目標の発表、またグループディスカッションも行われました。



1日目発表の様子

24日は、場所をコナ市内のホテルに移し、沖縄ハワイの経済開発や産業への取り組み等の発表があり、海洋温度差発電や関連産業の今後の展開についても活発な意見議論が行われました。また、今回初めて「久米島町紹介ミニブース」を設置して、各企業の皆様のご協力いただき、物産の展示やパンフレットの配布も実施しました。

次回開催は、来年久米島にて行われる予定です。

日本人企業家に学ぶ

ハワイとの産業交流としてハワイで活躍している日本人を招聘し、講演会が開催されました。

イーフ情報プラザにおいて6月14日に講演したサンヌードル創業者の卯木栄人さんは、アメリカで製麺二筋30年で、地道に顧客と向き合い、信頼を築いたといえます。現在では、ハワイとロサンゼルス、ニュージャージー合わせて毎日約9万食近くを製造し、シアトルやニューヨークにも出荷しています。

6月20日に講演した新井宏さんは、世界最大級のあわび養殖施設を作り上げた。生きたままのアワビをメインランドに送り、添加物も調味料もまったく入れずに製



卯木さん



新井さん

造する缶詰はハワイ州のプロダクトオブザイヤーを受賞しています。

参加者らは、海外で事業展開する日本人企業家の経験やエピソードに興味深く耳を傾けていました。

第3弾はハワイ島のコーヒー産業を支えるネイサン・Jクラシゲさんの講演会も予定されています。



講演会